

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第2回 西方地域会議
開催日時	令和2年6月25日(木) 19時00分～20時13分
開催場所	西方公民館 2階大会議室
出席者氏名	大塚 孝司朗 小川 和佳子 川島 基巳 小林 悦子 鈴木 幸恵 田村 利男 山ノ井 一男 和賀井 公子 渡邊 隆夫
欠席者氏名	飯沼 邦章 荻原 幸一 駒場 威 柳澤 恵子 渡邊 秀男
事務局職員職氏名	西方地域づくり推進課長 狐塚 光紀 西方地域づくり推進課副主幹 寺内 史幸 西方地域づくり推進課主査 栃木 正毅
その他出席者等	都市計画課主査 山田 賢吾 都市計画課主任 野口 泰弘
会議事項	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 意見聴取事項 ① 栃木市立地適正化計画の素案について (2) 協議事項 ① 令和3年度実施分地域予算提案事業について 4 その他 (1) 委員報告 (2) 事務連絡 5 閉会
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	1人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
進行：事務局	1 開会 (19:00～)
会長	2 あいさつ 大塚会長よりあいさつがあった。 3 議事 (1) 意見聴取事項 ① 栃木市立地適正化計画の素案について【都市計画課】

<p>会長</p>	<p>〈説明〉 担当課に対し説明を求める。</p>
<p>都市計画課</p>	<p>資料に基づき説明。</p>
<p>会長</p>	<p>〈質問・意見〉 委員に対し質問を求める。</p>
<p>委員</p>	<p>理想的でとても素晴らしい計画かと思うが、実行するためには土地利用制度や土地所有者の考えもあり数十年とか 100 年かかるのではないか。旧西方町の時にも土地所有者の理解や考え方、また相続問題等により整備が進まなかったような事例もある。意見としてだが、計画を早く進めるのであれば国や市が相続や売買等の土地利用制度を抜本的に改革することや一定の強制力をもって取り組まないと難しいと思われる。</p>
<p>都市計画課</p>	<p>理想論ではないかとか、強制力を持って進める必要があるのではないかという意見もいただくが、この計画では決してコンパクトシティとして市の中心部に強制的に人口や都市機能を集約するということを目指しているわけではない。</p> <p>コンパクト・プラス・ネットワークということで各地域の拠点となるエリアに都市機能や居住をゆるやかに誘導し、各拠点間やその周辺との間を公共交通で結ぶことが立地適正化計画の目的である。計画の目標年度も 2040 年度ということで 20 年先を見越した計画としているのでご理解とご協力をいただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>都市計画とコンパクトシティとの関連性はあるのか。他法令との絡みはクリアできるのか。</p>
<p>都市計画課</p>	<p>関連性がある部分とない部分はあるが、これまで、人口増加等により市街地が拡散し、現在は、拡散した市街地のままで人口が減少しているため、低密度化が進んでおり、都市計画制度だけで対応できない部分も出てきている。それらをカバーするために、政府全体として推し進める事業として、国土交通省でも都市計画部局だけではなく、他省庁の福祉、健康、産業、環境等の様々な部局も含めて計画を進めていくということで立地適正化計画がある。</p>
<p>委員</p>	<p>今回、市では新型コロナウイルスの影響で非常事態宣言が出されたが、今後、例えば地震等の災害によりさらに広い意味での非常事態宣言が出された場合の整合性はあるのか。東京が浸水してしまい地方に多くの人が避難するということや、災害等が比較的少ない西方のような地方への国会の移転なども考えられる。将来的に子どもたちに負担をかけることのないような計画と</p>

都市計画課	<p>してほしい。</p> <p>国としても都市計画に関連したコロナ対策として、様々な施策を検討しており、本計画の中でも、暮らしを保障する安全・安心な都市づくりを基本方針の1つとしており、今後、災害に強い安全な都市形成に寄与する施策を展開していきたいと考えている。</p>
会長	<p>〈採決〉</p> <p>他に質問等がなければ担当課にはここでご退席いただく。</p> <p>(都市計画課退席)</p> <p>ただ今の意見聴取に対して意見として提起することはあるか。</p> <p>特になければ、栃木市立地適正化計画の素案については、意見はなしとして回答してよろしいか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>(2) 協議事項</p> <p>①令和3年度実施分地域予算提案事業について</p> <p>〈説明〉</p> <p>事務局に対し説明を求める。</p>
事務局	<p>前回の会議にて各委員から提案いただいた意見について、現状や課題、解決策、地域予算提案事業として行うことの実現可能性等について事務局から説明を行った。</p>
会長	<p>〈質問・意見〉</p> <p>委員に対し質問を求める。</p>
委員	<p>ふれあいパーク等の公園についてはそもそも担当課があるのでその部署で管理すべきものではないか。地域予算提案制度では、地域で自分たちがやらなければならないような地域課題を解決すべきと考える。西方独自の地域予算事業ができればと考えるが、その点であればお祭りは地域の独自性もあるのではないか。お祭りも今のままでは具体的な話がないので地域予算で対応するのは難しいかもしれないが当事者同士で話してもらい何か検討できるようなことがあれば地域会議で検討してもらいたい。ふれあいパークの整備についてはこれまでも行ってきていることなので、今回の提案事業案については良いと思うが、今後は公園の管理については公園緑地課にお願いする方向にしてはどうか。今の委員は今限りなので、次期委員が検討する際にはこの話も引き継いでほしい。</p>
会長	<p>どのような事業を提案しても予算は担当課に入ることになるので担当課</p>

委員	<p>の事業として行われる。ふれあいパークについては、西方地域が始まった時からの提案事業として整備を進めてきていることもあるので、これまで必要な整備や管理を行っている。担当課に予算があれば対応できる内容であるが、担当課で対応できない部分を地域予算で行っているようなところもある。また、お祭りについては、地域予算事業としてできる具体的な内容でないと対応するのは難しい。ふれあいパークの花の滝については、合併後に管理を行っていなかったため荒れてしまったことから地域予算提案事業でこれまで行ってきており、1、2年くらい整備を行えばある程度きれいになってくると思う。</p> <p>あと1、2年くらいできれいになるということであれば、今回はふれあいパーク関係の提案事業でいいのではないかと。</p>
会長	<p>実現可能性の高い3事業に絞り込み、事務局において担当課と協議を行っていただき、次回の会議にてその結果を示してもらい、最終的な提案事業を決定することとしたい。</p> <p>[担当課と協議することとなった事業案]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西方ふれあいパークの遊具の改修及び整備 ・西方ふれあいパーク内の花畑整備 ・西方ふれあいパーク花の滝整備事業【継続】 <p>4 その他</p> <p>(1) 委員報告</p> <p>特になし</p>
事務局	<p>前回の会議で荻原委員からあった災害時における避難所に関する質問に対して、新型コロナウイルス感染症に対応した市の避難所運営指針を策定し、真名子地区については、これまで真名子夢ホールを避難所としていたが、この指針に基づいて、今年度からは真名子小学校を避難所として対応することとなった旨を事務局から回答した。</p>
事務局	<p>(2) 事務連絡</p> <p>①次回の地域会議開催予定</p> <p>令和2年7月22日(水) 午後7時～ 西方公民館2階大会議室</p>
事務局	<p>5 閉会 (~20:13)</p> <p>以上で本日の会議は全て終了する。</p>